



# くすの木



5月の生活目標：集会には、静かに早く集まろう。

令和元年度 NO.3 四万十市立具同小学校 (0880-37-3249) ≪文責：宮川≫

## PTA活動

4月20日(土)のPTA総会につきましては、保護者の参加が19名(会員数337名)と少なかったですが、委任状と教職員を合わせて過半数を越えていましたので、活動計画が承認されるとともに執行部が決定し、平成31(令和元)年度のPTA活動がスタートしました。

また、5月17日(金)には、多数の各学級役員との参加のもと、PTA役員総会が開催され、部会ごとに今年度の活動計画を話し合っていました。PTA執行部の皆様をはじめ、各部の役員を引き受けていただきました皆様方に改めて感謝申し上げます。

さて、役員総会の際にも少しお話しさせていただきましたが、PTA活動には子ども達の健全育成に係わって、大きく2つの意味や期待があるように思います。

一つは、どちらかと言えば直接的に子ども達の健全育成に係わることです。例えば、事業部が行っているベルマークの収集・集計作業は、その活動によってボールや一輪車等を子ども達に還元することができます。また、体育部が行っているマスト立て、文化部が行っている親子ふれあいイベント、生活部が行っている校外生活指導等も、直接的に子ども達の健全育成に繋がる活動です。

もう一つは、どちらかと言えば間接的に子ども達の健全育成に係わることです。それは、PTA活動を通じて、保護者同士、また、保護者と教職員が知り合いになり繋がりが生まれ、その中で、子育てや教育についての話ができるような良好な関係が生まれるといったことです。そのような繋がりは、回り回って多少なりとも子ども達の健全育成に結びついていきます。

前述の執行部、学級役員のほか、4年生以上の保護者には補助部員として運動会時等の活動に、また、全保護者には、街頭指導やプール監視の活動等にご参加いただきます。ご多用の中、お世話かけますが、子ども達の健全育成に繋がるPTA活動となりますよう、ご理解とご協力を重ねてお願いします。

役職	氏名	各部等
会長	佐竹 晶雄	
副会長	山崎 奈緒	文化部長
	植田 英喜	体育部長
	繁山 聡	生活部長
	東 貴美	事業部長
	宮川 成也	校長
幹事	濱口 格	教頭
	佐田 有里	教頭
	橋田 麻紀	主幹教諭
会計	山崎 千春	主任

※会計監査は決まり次第お知らせします。



## 修学旅行

5月12日(日)～14日(火)の日程で、広島方面へ修学旅行に行ってきました。3日間とも好天に恵まれ、大きな事故もなく旅程通りの修学旅行となりました。雑感も含めて、3日間を振り返ってみたいと思います。

松山港から呉港までのフェリーでは、中村南小学校、西土佐小学校と一緒にになりました。知り合いもいて、和気あいあいと楽しんでいる子どももいました。反面、具合が悪そうな子どもがいたので、声をかけると、初めてフェリーに乗って不安という返答。やっぱりいろいろな経験をさせるということは大事なことです。呉港に着くと具合もよくなっていました。

広島県に降り立つと、バスはマツダスタジアムへ直行。昨年度は雨天のため野球観戦が中止となりましたが、今年度は少し暑いぐらいの天候のもと、広島V S D e N A戦を観戦しました。広島の応援グッズを購入し、にわかカープファンになりきる子ども達が大勢いました。



2日目は朝から平和記念公園へ行き、毎年恒例の平和学習を行いました。平和記念資料館がリニューアルされており、目を覆いたくなるような写真も展示されていましたが、より戦争の悲惨さ、平和の尊さを子ども達は感じる事ができたのではないかと思います。今年も「原爆の子の像」の前で、全員で「おりづる」を歌いました。ヒロシマの青空に具同小学校6年生の平和を願う歌声が響き渡りました。心にしみるすばらしい歌声でした。



広島風お好み焼きを食べ、マツダミュージアム(マツダ自動車工場)を見学した後、宮島にフェリーで渡りました。

宮島では鹿が出迎えてくれるとともに、外国人の観光客が大勢いました。フェリー乗り場から厳島神社まで徒歩で移動中、何人もの外国人に出会いましたが、子ども達は誰に言われたわけでもなく、普通に「Hello!」と話しかけ、「How are you?」と聞かれると「I am happy」等と答える姿が多く見られました。これは、外国語活動の効果であるように思います。



3日目は、暑くもなく寒くもない曇り空のもと、遊園地「みろくの里」で3時間思いっきり遊びました。ジェットコースター、ゴーカー、観覧車等、男女仲良く走り回って本当に楽しそうに遊んでいました。何人かの子ども達に聞いてみると、遊園地が面白かったという意見が多かったです。

ただし、昨年度に引き続き、約半数の子ども達が集合時刻を守れなかったため、最後の最後に両担任に叱られました。出発する前にも「去年は『みろくの里』で集合時刻が守れずに、出発時刻が遅れたので、今年は遅れないように。」という話を聞いていたにもかかわらず遅れる子どもがいたので、やはり叱られました。やっぱり時間は守らなければいけません。褒められることをした時にはしっかり褒められる、叱られることをした時にはしっかり叱られる。大事なことです。



最後に叱られはしましたが、3日間を通して、おちゃらける時、静かに話を聞く時のけじめがしっかりついていることに感心しました。そういったけじめのある行動を今後の学校生活にもぜひ生かしていただきたいと思います。

## 大津波避難訓練

5月17日（金）の午後、大津波の避難訓練を実施しました。地震を知らせる音を放送で流すと、事前に学習した通り、机の下にもぐり、机の脚を対角線でしっかり持ちます。揺れがおさまったことを知らせると、避難経路を通過して、校庭の南側まで、しゃべらず走って移動し、学年ごとに並んで座ります。そこまで約3分30秒です。

その後、大津波警報が発令されているという想定で、1年生と6年生、2年生と5年生が手をつないで、自由ヶ丘東公園まで移動します。地震が発生して、約30分で移動が完了しました。全校児童がしゃべらずに真剣に訓練に取り組むことができていました。

避難訓練中、具同小学校の敷地は液状化になる可能性があること、家庭で避難場所を決めておくこと等について話をしました。各家庭でも防災について話す機会を持っていただければと思います。



修学旅行中、「修学旅行道中記」として、子ども達の様子を安心メールで流させていただきました。今後も緊急時等、何かと活用しますので、是非、安心メールへの登録をお願いします。登録の仕方が分からない場合は、各学級担任まで、お知らせください。